

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2026-1-155

課題名 : 子宮内膜症患者における多層的オミックス解析と診療情報との統合解析

1. 研究の対象

2025 年 7 月～2030 年 7 月に当機関で婦人科良性腫瘍の手術を受けられた方

2. 研究期間

2026 年 5 月 (研究実施許可日) ～2031 年 4 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 6 月 15 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

子宮内膜症の患者さんについて、体の中で起きている変化をいろいろなデータ (遺伝子・たんぱく質・代謝物など) と詳しい病院の記録を組み合わせ調べてみます。さらに、ほかの婦人科の良性の病気と比べることで、子宮内膜症だけに見られる特徴を明らかにしようとしています。こうした研究によって、早く見つけられる方法 (早期診断) や その人に合った治療を選ぶための手がかり (個別化医療) につながる、より正確な「バイオマーカー」を見つけていることを目指しています。

5. 研究方法

・プロテオーム解析

患者さんから集めた血液や腹水、膣分泌物、嚢胞の中身、組織などからタンパク質を取り出します。それを細かく分解して、専用の機械 (LC-MS) で「どんなタンパク質が、どれくらいあるのか」を調べます。その結果を使って、病気の特徴を見つけるためのデータ分析を行います。

・メタボローム解析

同じく患者さんの検体を使って、体の中で作られる小さな化学物質 (代謝物) を調べます。約 1200 種類以上の代謝物を一度に測れるキットを使い、LC-MS で量を測定します。得られたデータをもとに、病気の特徴を探すための分析を行います。

・マイクロバイオーム解析

患者さんの検体から細菌の DNA を取り出し、どんな細菌がどれくらいいるのかを調べます。16S rRNA という方法を使って「細菌の種類の一覧（細菌叢プロファイル）」を作り、子宮内膜症に特有の細菌のパターンがあるかどうかを調べます。

・臨床情報抽出

電子カルテから、年齢・身長・体重・BMI、これまでの病気、妊娠や出産の経験、月経に関する症状、手術の内容、薬の治療歴、血液検査の結果などを集めます。これらの情報を、上のデータ（タンパク質・代謝物・細菌）と組み合わせて分析します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢・身長・体重・BMI、これまでの病気、妊娠や出産の経験、月経に関する症状、手術の内容、薬の治療歴、血液検査の結果等

試料：血液や腹水、膣分泌物、嚢胞の内容液、組織等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反はありません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院婦人科 竹澤 美紀

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先：022-717-7254

takezawa.miki.p5@dc.tohoku.ac.jp

当機関の研究責任者：東北大学病院婦人科 渡邊 善

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合